

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年10月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	マーケティング
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年8月27日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年5月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: ~ 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45,000人
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	6847	964906 円	
宿舍費	6460	910369 円	食費込み
食費	180	25366 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	30	4477 円	
現地交通費	30	4477 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	90	12683 円	
被服費	90	12683 円	
医療費	0	0 円	
保険費	344	48280 円	形態:
渡航旅費	830	116966 円	
ビザ申請費	185	27750 円	
雑費	0	0 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計	15,086	2115274 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: HND 目的地: SFO 経由地: HNL 復路 出発地: LGA 目的地: HND 経由地: DTW
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ハワイアン航空、デルタ航空 料金:830.56 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ハワイアン航空 料金:361.76 復路 航空会社:デルタ航空 料金:468.8 ∴合計:830.56
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカイスクャナー) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:i-house) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学報告書を見て、自分で調べて支払いした。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
i-house はとても綺麗でした。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

事前に住む場所の治安をインターネットで検索した。エアタグを常に財布やキャリーケースに入れていた。「キャリーケース運ぶよ」と声をかけられたが、丁寧に断った。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

夕方 zoom をする時は、時々ネットの接続が悪いことがあった。高層階だとその傾向が強いかもかもしれません。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを2枚持っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

インスタントのお味噌汁です。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	5/20~6/28
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	4 単位単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brady
授業内容	マーケティング
試験・課題等	グループプレゼンテーションと対面試験
感想を自由記入	授業はマーケティングの基礎から英語で学んだ。授業は教授と生徒の双方向型で、たびたび英語で意見を伝えることや、議論をすることが求められた。授業内では、多くのケーススタディが行われる。毎回世界中の企業の事例を用いながら、マーケティングについて学んだ。グループプレゼンテーションでは、指定された企業のビジネスモデルや、将来のビジネスプランの提案などをまとめて発表した。グループプレゼンテーションまでは、多くの議論や事前準備、資料作成、発表練習など、授業時間以外にも活動をした。テストの直前になると、多くの提出物が出され、大変だった。テストは基本的に勉強していれば解ける問題が多い。授業も参加型で楽しく、プレゼンテーションのグループの子と仲良くなれる、とても良い授業だった。マーケティングに興味がある人にとってもおすすめ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Topics in the History of Music	音楽の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	5/20~6/28
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 4 回
担当教授	Saagar Asnani
授業内容	音楽の歴史や歌詞の研究
試験・課題等	個人プレゼンテーションと、ペアでの発表
感想を自由記入	授業では世界の様々な音楽を聴き、意見交換をした。授業の予習としては、音楽ツールで事前に音楽を聴いてくることだった。この授業を取って良かったと思う一番の理由は、「音楽は世界を凌駕するツール」だと認識できたことだ。様々な国の生徒と、同じ音楽を同じ空間で聴くこと、そしてそれを聴いたうえで感じることを共有することはとても貴重な機会だった。授業のプレゼンで、日本の YOASOBI の音楽を紹介した時に、みんなが笑顔になったり、素敵な感想を言ってくれたりしたことがとても良い経験になりました。最新の音楽から、古典の音楽まで幅広く触れることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Sustainability	持続可能な経済
科目設置学部・研究科	
履修期間	7/1~8/9
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Sanchita Banerjee Saxena
授業内容	環境から労働など経済を持続可能という側面から思考する。
試験・課題等	中間レポート、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	この授業では、持続可能な世界について、様々な観点から勉強した。アメリカやアフリカなどの労働の話が印象的だった。アメリカの現在の労働の課題や、アフリカのビジネス賃金の課題などを話した。また、環境の問題(森林伐採、地球温暖化)についても学んだ。多くの観点・視点からの「持続可能な世界」に対して現在の課題と、将来すべきことを勉強することができた。毎回授業の内容に沿ったゲストスピーカーが直接リアルタイムで話をしてくれた。専門的な話や、実際に起きていることを聴くことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business & Social Entrepreneurship	ビジネスと社会的起業家精神
科目設置学部・研究科	
履修期間	7/22~8/9
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Kyle Ridley
授業内容	起業家精神についてディスカッションをします
試験・課題等	グループプレゼンテーション
感想を自由記入	<p>起業家としての考え方という側面から、ビジネスに関して様々なインプットやディスカッション、プレゼンテーションを行った。とても積極的な参加が求められる授業で、毎回の授業で発言しないことはない。ビジネスの用語を使って英語を話すので、単語の語彙力や、ビジネスに関して意見交換するスキルが高まった。毎回密度の濃い授業で、ディスカッション2つとグループプレゼンテーション、動画の視聴が1回の授業で行われた。予習をやってくることが必要不可欠で、テキストを読んでこないと、話し合いにも参加できないし、プレゼンテーションも作ることができない。英語で話すことになれた人、ビジネスに興味がある人におすすめ。</p>

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中は時差があるので、なるべく日本でできることを行ってから留学に行くの良いと思います。全然不可能ではないです。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学をしたいと思ったら、ぜひ挑戦することをお勧めします。カリフォルニア大学バークレー校での留学経験は、一生忘れることのない特別な思い出になりました。

カリフォルニア大学バークレー校のサマーセッションに参加した経験は、私にとって非常に貴重であり、学びや成長の場として大きな影響を与えました。今回、アメリカに留学することを決めた理由は、アメリカが公用語として英語を使用し、世界を牽引する国の一つであると考えたからです。アメリカでの留学を通じて、英語を学ぶだけでなく、その文化や多様性、壮大さを肌で感じる事ができたのは、他の国では得難い貴重な経験でした。特に、アメリカの多様な人種や異なるバックグラウンドを持つ人々との交流が、自分の視野を広げる大きな要因となりました。

学んだこと

サマーセッションでは、自分が持っている目標や願望を明確にし、それに向かって具体的なアクションを取る事の大切さを実感しました。留学することで新たに得られる経験と知識を最大限に活かすために、私は毎日自分の進捗を日記に書き留め、振り返るようにしていました。例えば、授業や課題に積極的に取り組み、できたこととできなかったことを毎日確認することで、次に何をすべきかを明確にし、行動に移すことができました。この日々の反省と振り返りが、自己成長につながったと感じています。

目標達成のために重要だと感じた 5 つのこと

失敗を恐れないこと

慣れない環境や言語での授業は挑戦的でしたが、失敗を恐れるのではなく、それを学びの機会として受け入れることが重要だと感じました。アメリカでの生活や学びを通じて、失敗から得られる教訓が、私をさらに成長させる原動力となりました。

目標を失わないこと

日々の課題や授業に追われる中でも、最初に掲げた目標を見失わないことが大切だと感じました。留学する理由や目的を常に心に持ち続けることで、困難な状況でも自分を奮い立たせることができました。

毎日を振り返ること

毎日、自分が何を学び、何を達成したかを振り返ることで、自分の成長を実感し、次のステップに進む道筋が見えてきました。この振り返りのプロセスが、目標達成に向けた大きなサポートとなりました。

行動するタイミングは今

やりたいことを先延ばしにしない姿勢を強く意識するようになりました。特にアメリカでは、自ら積極的に行動しないと得られない経験が多くあり、行動するタイミングを逃さないことが重要だと学びました。

楽しむこと

何よりも、学びや挑戦を楽しむことが自己成長の鍵だと感じました。新しい知識や文化に触れることの楽しさや、異文化交流から得られる刺激が、日々のモチベーションとなりました。